



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月10日

上場会社名 株式会社芝浦電子 上場取引所 東
コード番号 6957 URL <https://www.shibaura-e.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長社長執行役員(氏名) 葛西 晃
問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営管理部長(氏名) 星ノ谷 行秀 (TEL) 048-615-4000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	25,430	3.9	4,103	3.1	4,153	0.9	2,833	△1.9
2024年3月期第3四半期	24,475	△1.6	3,979	△3.5	4,118	△5.0	2,888	△1.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 4,012百万円(6.9%) 2024年3月期第3四半期 3,752百万円(△7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	187.33	—
2024年3月期第3四半期	189.54	—

※2024年7月1日付で当社普通株式を1株につき2株の割合で株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	43,622	36,595	83.8
2024年3月期	43,574	35,162	80.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 36,567百万円 2024年3月期 35,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	300.00	300.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2024年7月1日付で当社普通株式を1株につき2株の割合で株式分割しております。2024年3月期は分割前、2025年3月期(予想含む)は分割後の金額を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,800	4.3	5,400	5.8	5,400	1.8	3,730	△2.4	246.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	15,559,730株	2024年3月期	15,559,730株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	483,047株	2024年3月期	297,424株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	15,124,441株	2024年3月期3Q	15,237,755株

- (注) 1 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が所有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。
- 2 当社は、2024年7月1日付で当社普通株式を1株につき2株の割合で株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等の注記)	P. 9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国の金融政策を背景とした物価情勢の影響や、ウクライナや中東等の地政学リスクにより、依然として先行きが不透明な状況が続いております。米国では、連邦準備制度理事会(FRB)の金融政策の動向や新大統領による政策が注視される中、堅調な個人消費を背景に景気は底堅く推移しました。欧州では、国ごとの差はあるものの、インフレ圧力の緩和による個人消費の持ち直し等を受け緩やかな回復基調となりました。中国では、個人消費の低迷や不動産市場の低調が続くものの、景気刺激策の効果により下げ止まりの兆しが見られます。国内経済においては、世界経済の停滞や為替レートの急変による物価変動等が懸念されるものの、企業の業績回復を背景に景気は堅調に推移しています。当社の属する電子部品業界は、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響が緩和され、需要の回復が見られます。一方でエアコン向け製品等、需要の低迷が続く分野では回復が遅れています。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画(2024-2026)の達成に向けて取り組んでおります。長期的な経営ビジョンを策定し、新たな価値の創造を目指して、製品開発、生産性向上、マーケティングに注力していきます。製品開発につきましては、お客さまのニーズを超える製品開発を推進し、顧客満足度の向上及び技術革新に繋がるとともに、新製品の開発や新市場の拡大を目指します。生産性向上につきましては、AIやロボットを導入した製造設備の研究・開発や継続的な改善活動を推進するとともに、海外工場へのライン移管や多直化を進め、生産性向上を図ります。また、原材料の調達については、グローバル調達を強化し、リードタイムの短縮や調達コスト削減等により、コストを抑え安定的に供給を実現出来る体制づくりを進めております。

マーケティングにつきましては、全世界のお客さまとの連携を深め、シナジー効果を創出しながら、新分野・新市場の開拓及び新製品開発等に繋げてまいります。また、引き続きEV/HVへの販売拡大に注力するとともに、環境規制やエネルギー効率化に関連する分野にも積極的に営業活動を展開しております。事業分野毎の実績につきましては、ホームアプライアンスでは、電子レンジやコーヒーメーカー等を始めとした調理機器用センサが増加しました。また、エアコン向けセンサの販売は回復が見られました。オートモーティブでは、電動化の進展等に伴い、EV/HV用モーター向けセンサの販売が引き続き増加しました。インダストリアルでは、複合機用センサが増加しました。

最近の取り組みとしましては、2024年11月に新事業開発室を発足し、新たな価値創造の取り組みを開始しております。また、2026年1月を目途に、事業拡大に伴う本社機能の強化、社員の働きやすい環境整備、優秀な人財確保を目的として、自社保有の社屋に移転を予定しております。人的資本に関する投資では、引き続き働き方の多様化対応、人材育成、ダイバーシティ推進、社員の健康増進支援を推進しています。また、ガバナンス強化、二酸化炭素排出量削減等のESG課題にも積極的に取り組んでおります。

その結果、当3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	24,475	25,430	955	3.9%
営業利益	3,979	4,103	124	3.1%
経常利益	4,118	4,153	35	0.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,888	2,833	△54	△1.9%

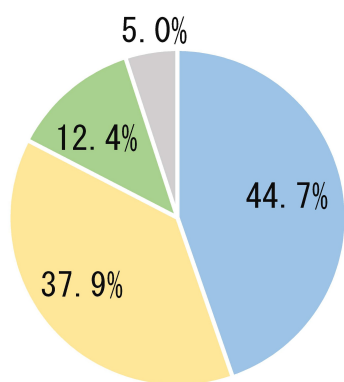
各事業分野の売上高は、以下の通りであります。

事業分野別売上高

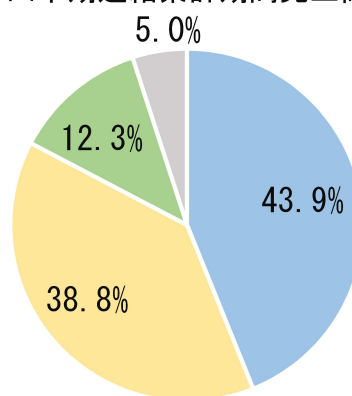
(単位：百万円)

事業分野	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
ホームアプライアンス	10,946	11,173	227	2.1%
オートモーティブ	9,285	9,878	592	6.4%
インダストリアル	3,037	3,128	91	3.0%
その他	1,205	1,249	44	3.7%
計	24,475	25,430	955	3.9%

前第3四半期連結累計期間売上高構成比

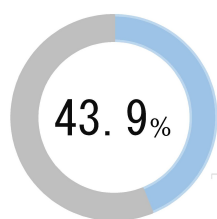


当第3四半期連結累計期間売上高構成比

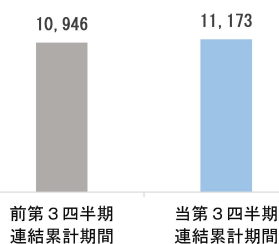


■ ホームアプライアンス ■ オートモーティブ ■ インダストリアル ■ その他

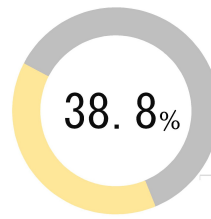
■ ホームアプライアンス
● 売上高構成比



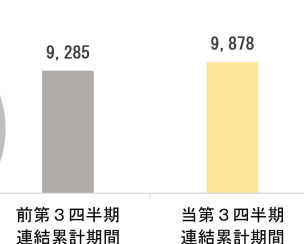
● 売上高 (単位: 百万円)



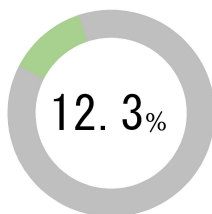
■ オートモーティブ
● 売上高構成比



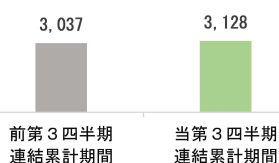
● 売上高 (単位: 百万円)



■ インダストリアル
● 売上高構成比



● 売上高 (単位: 百万円)



(2) 財政状態に関する説明

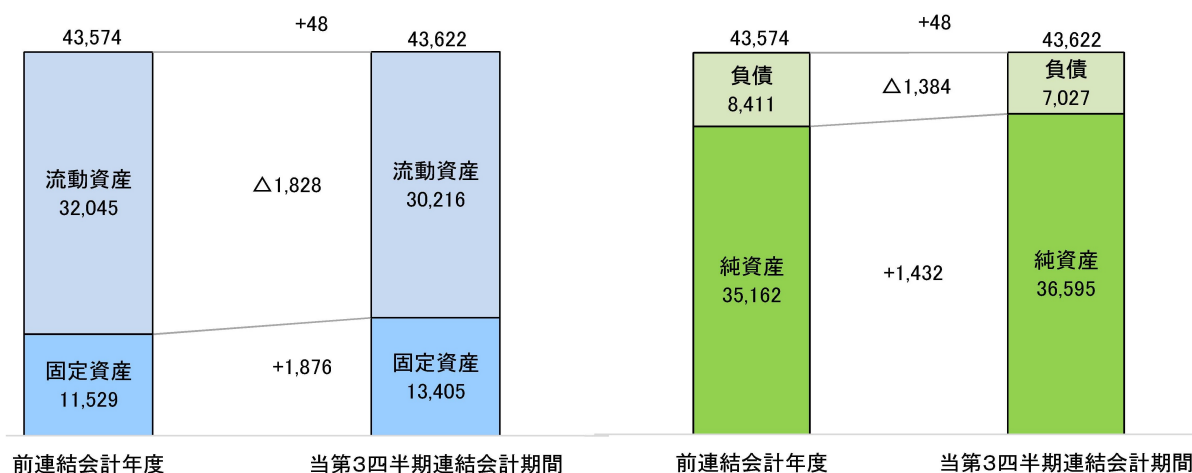
①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間の連結財政状態は以下の通りとなりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間	増減
資産合計	43,574	43,622	48
流動資産	32,045	30,216	△1,828
固定資産	11,529	13,405	1,876
負債合計	8,411	7,027	△1,384
純資産合計	35,162	36,595	1,432

(単位：百万円)



(資産)

当第3四半期連結会計期間の流動資産は、前連結会計年度比1,828百万円減少しました。現金及び預金が2,142百万円、商品及び製品が395百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が707百万円増加しました。

固定資産は前連結会計年度比で1,876百万円増加しました。国内外各社の製造設備部材購入及び製造設備導入等で建物及び構築物、機械装置等が183百万円増加した他、福島芝浦電子松川工場第2棟の建設や新本社屋建設等により、建設仮勘定が1,758百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度比1,384百万円減少しました。長短借入金が450百万円、未払法人税等が455百万円、賞与引当金が346百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度比1,432百万円増加しました。為替換算調整勘定が1,152百万円、利益剰余金が852百万円増加した一方、自己株式を取得したことにより自己株式が592百万円増加しました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の80.6%から83.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の状況、今後の業績予測を勘案し、当期の業績予想の見直しを行った結果、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期通期における業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2025年2月10日)公表の「業績予測の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,542	11,399
受取手形及び売掛金	6,124	6,832
電子記録債権	1,925	1,907
商品及び製品	3,057	2,661
仕掛品	3,933	4,112
原材料及び貯蔵品	2,063	1,961
その他	1,399	1,342
流動資産合計	32,045	30,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,420	4,560
機械装置及び運搬具（純額）	3,262	3,307
その他（純額）	1,801	3,634
有形固定資産合計	9,485	11,502
無形固定資産		
	138	109
投資その他の資産		
投資有価証券	459	498
退職給付に係る資産	879	796
その他	566	498
貸倒引当金	-	△0
投資その他の資産合計	1,905	1,793
固定資産合計	11,529	13,405
資産合計	43,574	43,622

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,777	3,718
短期借入金	600	447
未払法人税等	802	346
賞与引当金	648	301
役員賞与引当金	90	45
その他	1,858	1,820
流動負債合計	7,776	6,679
固定負債		
長期借入金	297	-
役員報酬BIP信託引当金	110	127
退職給付に係る負債	140	51
その他	86	169
固定負債合計	634	347
負債合計	8,411	7,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	2,150	2,166
利益剰余金	28,378	29,231
自己株式	△655	△1,247
株主資本合計	32,019	32,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	277	305
為替換算調整勘定	2,735	3,888
退職給付に係る調整累計額	83	79
その他の包括利益累計額合計	3,096	4,272
非支配株主持分	47	27
純資産合計	35,162	36,595
負債純資産合計	43,574	43,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	24,475	25,430
売上原価	17,548	18,154
売上総利益	6,926	7,276
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,009	1,108
賞与引当金繰入額	99	80
役員賞与引当金繰入額	67	45
退職給付費用	22	19
役員報酬BIP信託引当金繰入額	10	16
その他	1,736	1,902
販売費及び一般管理費合計	2,947	3,172
営業利益	3,979	4,103
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	8	8
為替差益	57	13
受取地代家賃	17	21
助成金収入	36	6
その他	23	17
営業外収益合計	150	72
営業外費用		
支払利息	3	1
譲渡制限付株式報酬償却	2	11
その他	5	9
営業外費用合計	11	22
経常利益	4,118	4,153
特別利益		
固定資産売却益	-	0
子会社における送金詐欺回収益	167	4
特別利益合計	167	5
特別損失		
固定資産処分損	7	13
減損損失	-	5
特別損失合計	7	18
税金等調整前四半期純利益	4,278	4,140
法人税、住民税及び事業税	1,294	1,175
法人税等調整額	93	129
法人税等合計	1,387	1,305
四半期純利益	2,890	2,835
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,888	2,833

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,890	2,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	27
為替換算調整勘定	793	1,152
退職給付に係る調整額	1	△3
その他の包括利益合計	861	1,176
四半期包括利益	3,752	4,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,749	4,009
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	アメリカ	
売上高					
外部顧客への売上高	14,799	8,177	941	557	24,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,357	5,078	100	3	9,539
計	19,157	13,255	1,041	560	34,014
セグメント利益	3,872	765	77	△5	4,710

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,710
セグメント間取引消去	21
全社費用(注)	△752
四半期連結損益計算書の営業利益	3,979

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	アメリカ	
売上高					
外部顧客への売上高	15,096	8,859	661	813	25,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,193	5,421	119	2	9,736
計	19,290	14,280	780	815	35,167
セグメント利益	4,038	806	50	13	4,909

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,909
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△804
四半期連結損益計算書の営業利益	4,103

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	アメリカ	計		
減損損失	5	—	—	—	5	—	5
のれん等	—	—	—	—	—	—	—

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	1,159百万円	1,257百万円